



新政会
本間 保 昭

総合交流ターミナルたきかわ
(道の駅たきかわ) について

質問 近年は連続して赤字決算になっており、収入についても減少傾向が続いていると思うが、内部留保との関係において、同様の状況が続いたと仮定した場合、今後どうなるのか伺う。

答弁 総合交流ターミナルたきかわ管理組合を指定管理者として、これまで市からの管理代行負担金はなく、売り上げと出店者からの共益費により施設全体の運営管理を行っていますが、近年は赤字が続き、内部留保についても減少している状況にあります。同程度度の赤字が発生した場合、一年で内部留保がマイナスになることはありませんが、早急に改善を要すると認識しています。

質問 全国の道の駅はまちの顔として、それぞれの自治体が競争する中で注目度が上昇している。特産品などの売り物を磨くためにさ

まざまな工夫がされ、地域らしさを目指しているからだと思う。経営状況と近隣施設との比較という視点、日本で最も美しい村江部乙協議会や江部乙商工会との連携という視点、農村環境改善センターとの関係性の視点から滝川市の顔として、今後描くべき将来像とその方策について伺う。

答弁 本市の顔である施設の設置目的を果たすため、農産物や特産品などのPRや観光情報など、情報発信施設として発展させていかなければならないと考えます。

さらなる販売品目の充実や陳列方法など施設の魅力アップについて管理組合と取り組んでいきたいと考えています。

また、事業実施の難しさも感じているので、細かく具体的な課題を解決していくことで経営改善を進めていきたいと考えており、3つの視点については、今後検討していきたいです。



▲道の駅たきかわ



日本共産党
清水 雅人

江部乙中学校の適正配置計画について

質問 市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書で、江部乙中学校の統合の適否および小中一貫教育についての検討の経過が記載された。今後の方針として、保護者の理解はおおむね得られていると判断される。今年度は地域住民への説明会を開催し、市長部局とも連携し、江部乙中学校の統合を推進するというものである。PTA役員や保護者との懇談会の概要について伺う。

答弁 PTA役員との懇談会は2回行い、小中学校の全保護者対象の懇談会は、個別に案内を郵送して開催しました。1回目は21人の20%出席、2回目15人の14%出席し、延べ約5時間懇談しました。資料は、適正配置計画の本編と概要版、江部乙小中学校の児童生徒数の推移と今後の見込みなどについて提示しています。

小規模校の緩和になるのかの質問に対しては、基本的な解決策にはならない制度であると説明しましたが、市教育委員会としては、小中一貫教育を排除して検討していくわけではありません。

質問 今回の適正配置計画は、学校の大規模改修、建て替え計画を凍結して進められているが、市の財政事情を優先して統合ありきで進めることは問題である。

質問 小中一貫教育については、説明会の中で具体的事例を示して保護者に意見を伺うべきだったと思うが、説明の仕方などについて伺う。

答弁 小中一貫教育については、作られた目的など制度論を説明しました。

これからどう進めていくのか考えを伺う。

答弁 今使用している部分の耐震化については、100%達成し、市としては、子どもの安全安心を、最優先で進めてきました。

今後、地域に押し付けることなく、統合を含めて地域の在り方、学校教育の在り方について検討を進めていきたいと考えています。